



人が輝く宮代町に
宮代町長 新井康之

あけましておめでとうございます。
町民の皆さまには、すがすがしい新年をお迎えのこと
とご推察申し上げます。

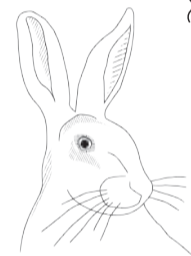
さて、新型コロナウイルス感染症感染拡大の始まりか
ら3年が経過しました。当初は極端に行動を制限せざる
をえない日々が続きましたが、この間、ワクチンの接種
も進み、また、私たちはこの新しい感染症との付き合い
方を学びました。

昨年は、中断していた行事も町内各地で徐々に再開さ
れています。やはり直接の交流は良いものです。それぞ
れの地域で皆さまが工夫を凝らして交流を進めている姿
には心を打たれます。敬意と感謝、これ以外に言葉があ
りません。

町の動きとしては、教育支援センター、須賀小学校地
域拠点施設検討委員会、民間スーパーと連携した移動販
売車の巡回などが始まっています。セレクト横丁ロック、
和戸横町地区に物流センター開業など、民間が主体とな
り町の活性化につながる動きも進んでいます。

新しい年も引き続き、コロナ禍を乗り越え、その先にあ
る未来へ進んでいきます。そして、町民の皆さまとの
対話を重ねながら、人が輝く、魅力ある宮代町となるよう、
力を尽くしてまいります。どうか、宜しく願い申し上げ
ます。

新しい年を迎えて



日常を取り戻す1年に
宮代町議会議長 合川泰治

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれまして
は、清々しく輝かしい新春をお迎えのことと、お慶びを申し
上げます。また、日頃より町議会に対しまして、ご理解、ご
協力をいただき、厚く感謝とお礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの影響によって、これまで様々な行事
やイベントが中止、あるいは規模の縮小ということで、コミュ
ニケーションの機会が奪われてきました。昨年は徐々に
その傾向にも兆しが見え、少しずつではありますが、皆さま
と顔を合わせる機会が増えてきたことはたいへん嬉しく思
います。

政府は新型コロナウイルス感染症の分類について、見直
しを「速やかに検討する」とし、季節性インフルエンザと同
じ5類への緩和を視野に議論を本格化させるとのことです。
こうしたことから、本年においては、過度に恐れることなく、
日常を取り戻していく1年になればと願っております。

さらには、昨年行われたワールドカップでの日本代表の皆
さまの活躍は我々に勇気と感動を与えてくれました。まちづ
くりにおいても、果敢にチャレンジする精神を失わず、皆さ
まへ勇気と感動を発信できる宮代町へと飛躍することができ
れば幸いです。

皆さまには、ご自愛をいただき、実り多き年となりますこ
とを心からお祈り申し上げ、新春のごあいさつとさせていただきます。

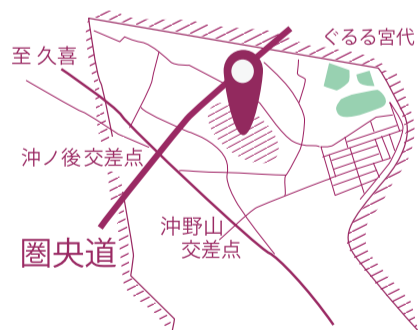
令和4年はこんな一年でした

- 3月 すてっぷ宮代で片桐仁作品展開催
- 4月 教育支援センター「みらい」開設
- 5月 小中学校適正配置説明会を町内4か所で開催
- 6月 4回目の新型コロナウイルスワクチン接種スタート
- 8月 町民まつりが3年ぶりに開催
- 8月 県健康長寿優秀市町村表彰で3年連続 優秀賞
- 8月 民間と連携した移動販売車の巡回開始
- 10月 道佛地区にセレクト横丁ロック オープン
- 10月 ぐるる宮代でスポーツフェスティバル開催
- 12月 和戸横町地区に物流施設が開設



この建物は従来よりも50%エネルギーを削減する設計となっ
ています。さらに、今後は建物上部に太陽光パネルを敷設し、
全体の50%のエネルギーをまかなう予定とのことです。

和戸横町地区に 物流センターが開設



の間で、令和5年1月に、災害時にお
ける一時避難に関する協定を締結す
る予定となっています。

なお、今回の区画整理事業に合
わせて、町民の皆さんが利用できる
新しい道路や公園なども整備され
ました。



上写真の手前から、圏央道、DPL 久喜宮代、
ぐるる宮代、桃山台団地

大和ハウス工業(株)が進めてい
た宮代和戸横町地区土地区画整理
事業の区域内で、物流施設「DPL
久喜宮代」が完成しました。約7万
平米の敷地に地上4階建て、延床面
積約16万平米の大きな施設です。
ここでは、従業員約300人が働くこ
とを想定し、およそ300台の駐車場、
駐輪場も整備されています。

また、建物は地震の時も事業を
継続できるように免震システムを導
入するとともに、浸水対策を講じて
います。町は「DPL 久喜宮代」と

2023 令和5年



昨年は小規模ながら
作品展を開催したス
タートの年となりま
した。令和5年には、
アート活動を「カラ
フルにパワフルに」飛
躍の年にしたいです。
(今月の表紙の作者)
才市悦子さん



東武動物公園駅西口
にイルミネーション
のオブジェを飾る活
動を実施しています。
令和5年は、この活
動にもっと沢山の人
を巻き込み、町を賑
やかにしたいです。
古谷諭史さん



2月から2年間、青年
海外協力隊としてソ
ロモン諸島の小学校
に赴任します。現地
の子どもたちと交流
を深め、手ごわりの
ある国際貢献ができ
たらと思っています。
上瀧桃佳さん

市民ワークショップ あったらいいな、こんな場所 ～須賀小学校にみんなが集まる地域の施設～

10月30日、須賀小学校再整備にあ
たって、幅広い町民の皆さんから意見
やアイデアをいただくことを目的として、
須賀小学校体育館でワークショップを開
催しました。

町では20年の長期的な視点から小中
学校の適正配置を進めています。その
最初のステップとして、地域の皆さんが
集まる拠点として、須賀小学校を再整備
する予定です。そこで、幅広い町民の皆
さんにご参加いただいたワークショップ
を開催することにしました。

参加者は、無作為に選ばれた須賀小
学校通学区在住の10歳から88歳まで
の皆さん。4人から6人のテーブルに分
かれ、席替えを繰り返しながら、9時30
分から16時まで、世代をこえて、テー
マにそった話し合いを行いました。

現在、町では、町民・専門家・関係者
で構成される須賀小学校地域拠点施設
検討委員会がスタートしています。ワー
クショップで出た意見やアイデアは今後、
検討委員会が議論を進める上での貴重
な基礎資料となります。



話し合いのテーマは
・みんなが集まる場所はどんなところか
・須賀小学校にどんな機能や役割があればみんなが集まる場所になるか
などです。ワークショップの最後に1日の話し合いを通して、「これはいいね!」
と印象に残った意見やアイデアを付箋で張り出しました。

- いろいろな年代の人が使える施設
- 顔見知りを作る場
- いつでも楽しく給食が食べられるカフェ
- 料理教室
- 音楽ができる場所
- 音楽室での交流(合唱など)
- 地域の人が家庭教師
- 24時間持ち帰り図書館
- 災害の時皆が集まる場所
- 災害時の練習を兼ねたキャンプ
- お祭りをして楽しみたい
- 特別教室の解放
- 半分学校半分フリースペース
- 筋トレスペース
- 駄菓子屋でおしゃべり



参加者の一人は、「みんな
がどんな思いを持って暮ら
していて、この地域にどん
な希望をもっているのか、
またそこで自分は何がで
きるのかを真剣に考える
きっかけになりました」と
感想を語ってくれました



町では今後も同様のワー
クショップなどを開催し、
町民の皆さんからアイ
ディアをいただく予
定です

